

地域社会との共生を目指して 新しいゴルフ場のカタチを追及し続ける企業の社会貢献活動

地域社会の一員として 企業が取り組む社会貢献

さまざまな社会貢献活動に取り組む、有馬ロイヤルゴルフクラブ（兵庫開発株式会社）。その活動の根底には、「広大な土地を独占して、芝の管理のためとはいえ農薬を散布し、一部の裕福な人しか利用しない、といったようなゴルフクラブのあまり良くないイメージを払拭し、『地域との共存共栄を目指す』という先代の想いを具現化していきたいという思いがある」と代表取締役社長の大林 功さんは話す。「サマーカーニバル」の開催など地域住民との交流の場づくりをはじめ、阪神・淡路大震災当時はクラブハウスを避難所として提供し、被災者の方にレストランや浴場を無料で

開放。また、東日本大震災では「東北自動車道ボランティア・インフォメーションセンター」の運営スタッフとして社員を派遣し、自らもボランティアとして東松島市内の被災家屋の泥出し等を行うなど、精力的に社会貢献活動に取り組んでいる。

広がりつつある活動の場

有馬ロイヤルゴルフクラブでは、10年以上前から障害者自立支援の一環として、知的障害者や発達障害者の経済的自立を支援している社会福祉法人「上野丘さつき会」（神戸市北区）と連携し、ゴルフクラブを仕事場の一つとして提供している。仕事としては、コースの管理作業（砂入れ、グリーンの修復作業）をメインに、2年前からリネン室での作業も任せている。また、コース敷地内の旧社員用幼稚園を作業所に改築し、旅行鞆の解体作業やコース管理チームの休憩の場として活用。作業に対して目を見張るような集中力を発揮する障害者は、今では大きな戦力となっているという。現在は、「上野丘さつき会」と契約を結んでいるかたちだが、いずれは障害者を直接雇用することも考えている。この福祉施設との連携事

業を通じて、有馬ロイヤルゴルフクラブの成果を伝え聞いた他のクラブが仕事先として参加するなど、企業と地域をつなぐ活動の輪が、今、確実に広がりを見せている。



インタビューを受ける大林社長



作業所にて旅行鞆解体作業を行う様子

兵庫開発株式会社
有馬ロイヤルゴルフクラブ

代表取締役社長 大林 功

昭和45年設立

兵庫県神戸市北区淡河町北畑5-1-1

<http://www.arima-royal.com/>